



# 社会と世界の中の大学教育 —お茶の水女子大学の目指すもの—

国立大学法人お茶の水女子大学長  
羽入 佐和子



## 概 要

1. 大学の役割  
社会の中の大学、世界の中の大学とは
2. お茶の水女子大学の教育改革
3. 新たな大学院教育
4. 国際化の取り組み
5. お茶の水女子大学の教育理念
6. 知の創出
7. 大学と社会との関わり、世界との関わりの意味



## 1. 大学の役割

☆ 社会の中の大学、世界の中の大学とは

(Ⅰ) 社会性 教養と専門性 ⇒ 社会への提供

- 教育の成果や研究成果を社会に還元する
- 知の創造・蓄積・伝達
- 知の研究・開発

↑

- そのために、高度な専門性を有する人材を育成する

(Ⅱ) 国際性 世界との交流

- グローバルな視点から思考する
- 国際的な場面に身を置く



## 2. お茶の水女子大学の教育改革

- 新しい学士課程教育

学生が広く深い教養と高い専門性を身につけ、人類にとって未経験の課題に対しても果敢に挑戦する能力を練磨する

- 二つのプログラム

① 「21世紀型文理融合リベラルアーツ教育」

(平成20年度開始)

② 「複数プログラム選択履修制度」

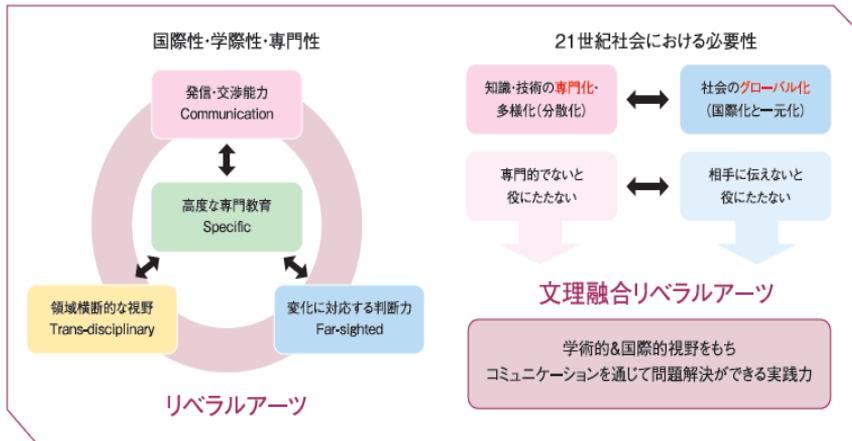
(平成23年度開始)

☆ 学生の主体性

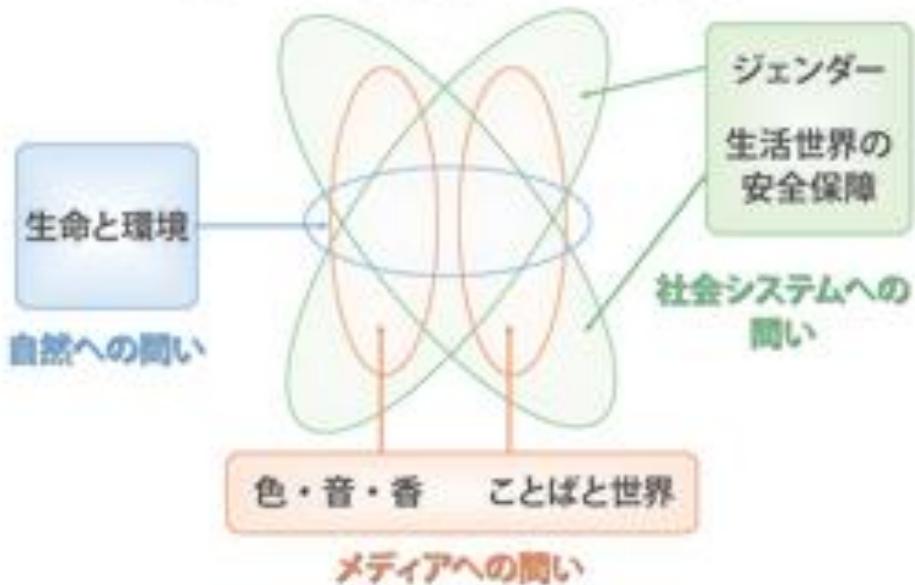
☆ 「深い教養」と「広い専門性」

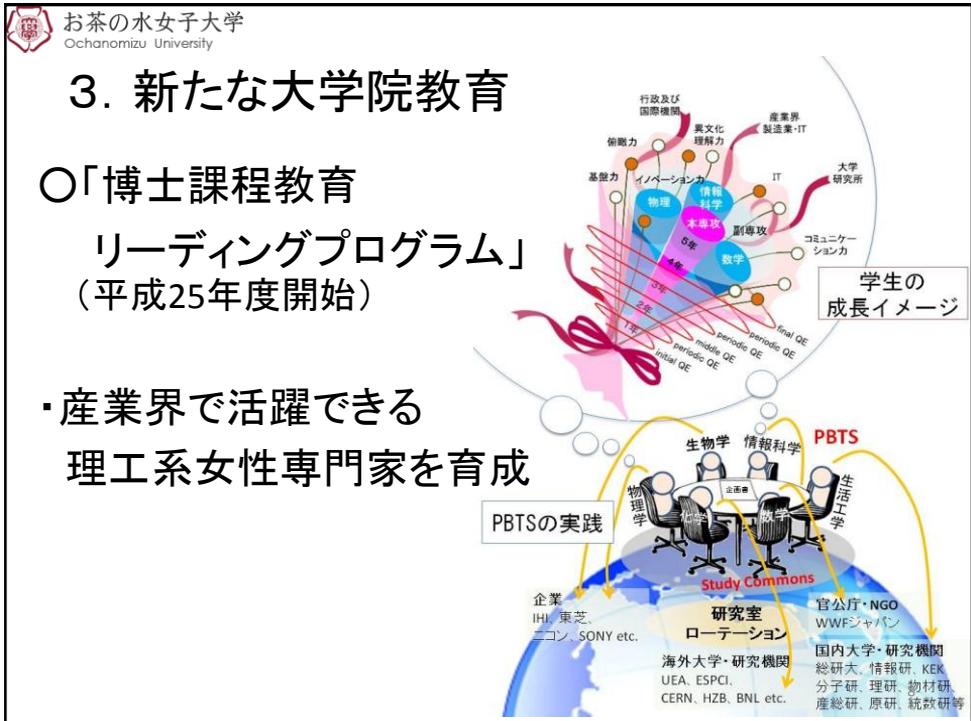
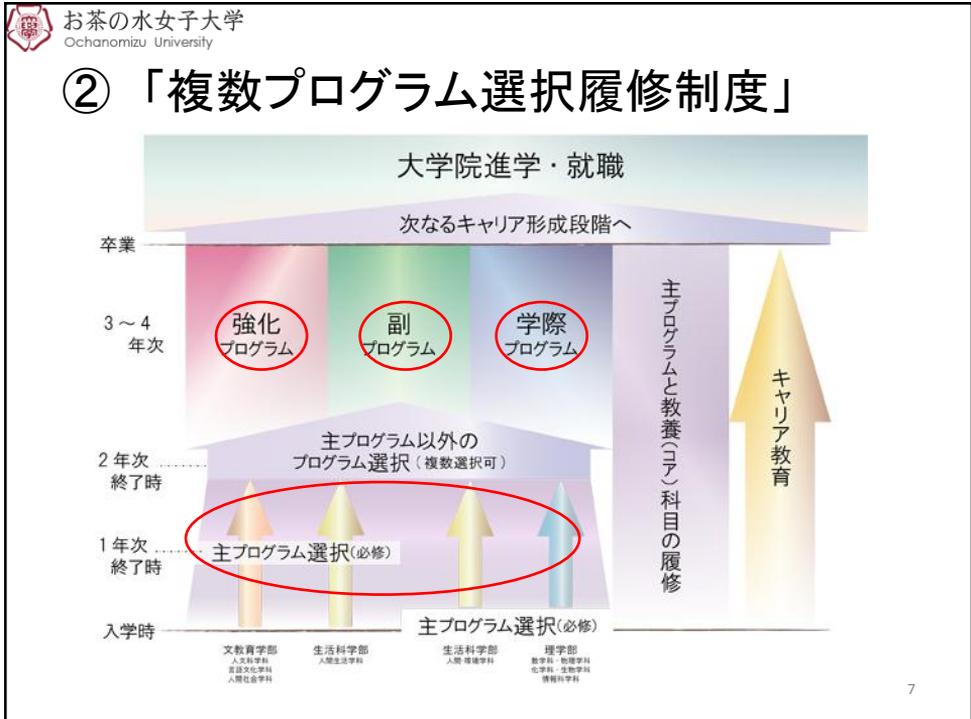


# ① 「21世紀型文理融合リベラルアーツ教育」



## 文理融合科目群の構成







お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

## ○企業アドバイザーリーボード・メンバー懇談会 ーイノベーションを創出するのは あなた方、お茶大生です！ー

- ・企業アドバイザーリーボード・メンバーと  
本学プログラム担当者とのディスカッション  
(2013年11月27日)

9



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

## ○キックオフシンポジウム 「ダイバーシティ社会を牽引する博士人材とは」

2014年3月3日(月)

- ・基調講演
- ・本学と他大学の取組み紹介
- ・本プログラムに採用された  
院生による「PBTS」課題の提案

「イノベーション」の創出は「多様なイノベーション」を創出し続ける  
目玉系「ローカリー・グローバル」の真髄

### キックオフシンポジウム ダイバーシティ社会を 牽引する博士人材とは

2014年 3月3日(月) 13:00 ~ 17:10 (開場 12:30)

会場：お茶の水女子大学 共通講義棟2号館201室 (定員30名) 東京都文京区大塚2丁目1-1

**プログラム**

- 第1部 13:00-13:45  
●基調講演「多様なイノベーション」(お茶の水女子大学)  
●基調講演「多様なイノベーション」(お茶の水女子大学)  
●オンラインプログラム「多様なイノベーション」の紹介
- 第2部 13:45-17:10  
●院生による「PBTS」課題の提案  
●院生による「PBTS」課題の提案

**参加申込**  
このシンポジウムは、お茶の水女子大学の主催で開催いたします。参加費は無料です。お茶の水女子大学のホームページから申し込みをお願いします。  
お茶の水女子大学 国際交流センター  
〒112-8601 東京都文京区大塚2丁目1-1  
TEL: 03-3826-8111  
E-mail: haku@ochanomizu.ac.jp

**お問い合わせ**  
お茶の水女子大学 国際交流センター  
TEL: 03-3826-8111  
E-mail: haku@ochanomizu.ac.jp

**MAP**  
お茶の水女子大学 国際交流センター  
〒112-8601 東京都文京区大塚2丁目1-1  
TEL: 03-3826-8111  
E-mail: haku@ochanomizu.ac.jp

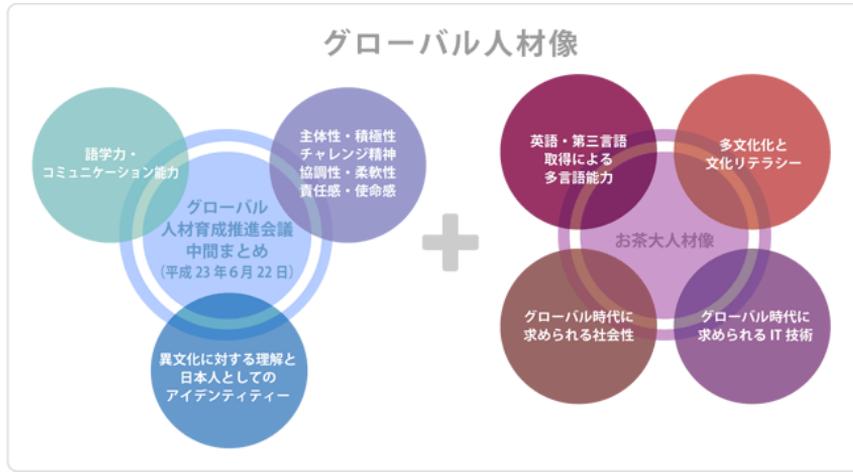
10



## 4. 国際化の取組み(1)

### ○「グローバル人材育成推進事業」

(平成24～28年度)



## 4. 国際化の取組み(2)

### ○大学間国際交流協定校数

54大学 (2009年4月～2014年1月で1.5倍)

### ○学生の意識

- 本学の調査によると本学学生のおよそ70%が海外で学ぶことを希望
- 夢をかなえる制度改革
  - ①語学力の強化
  - ②派遣制度の拡充
  - ③四学期制を導入(平成26年度)

☆グローバルな視点

☆多様性を理解し尊重する視点



## 5. お茶の水女子大学の教育理念

- 「知識」、「見識」、「寛容」  
社会に有用な知識を提供するには、  
堅固な知識の習得が必須であり、  
その知識を基盤として、物事を適切に判断する能力、  
つまり「見識」を高める必要がある。  
そして、グローバル社会に身を置くことは、  
多様な文化、多様な価値観に向き合い理解すること  
でもあり、その経験を通して「寛容」な姿勢を培う
- リーダーシップ教育  
「心遣い」「知性」「しなやかな強さ」

13



## リーダーシップ教育 “Migakazuba”



14

## リーダーシップ教育



15

## お茶の水女子大学論



お茶の水女子大学の特色を知り、自らの将来をイメージしながら、在学期間を有効に過ごすための基礎をつくる。

16



## 卒業生と在校生との交流

### 【参加者の感想】

#### <在學生>

- ・幅広い分野で活躍している先輩方にお話を伺えて、有意義でした。
- ・人生の先輩としてアドバイスを頂き、ためになりました。

#### <卒業生>

- ・在校生の就職活動の一助になれば。
- ・無料の託児は非常にありがたい。

卒業生、在學生ともに昨年度に引き続き参加したとの感想もあり、参加者のネットワーク構築の進んでいることが認識でき、極めて満足度の高い催しとなった。



## 卒業生のキャリアパス

### 1955-64年出生(調査時 44~53才) 正規雇用率

(2008年度本学による調査)

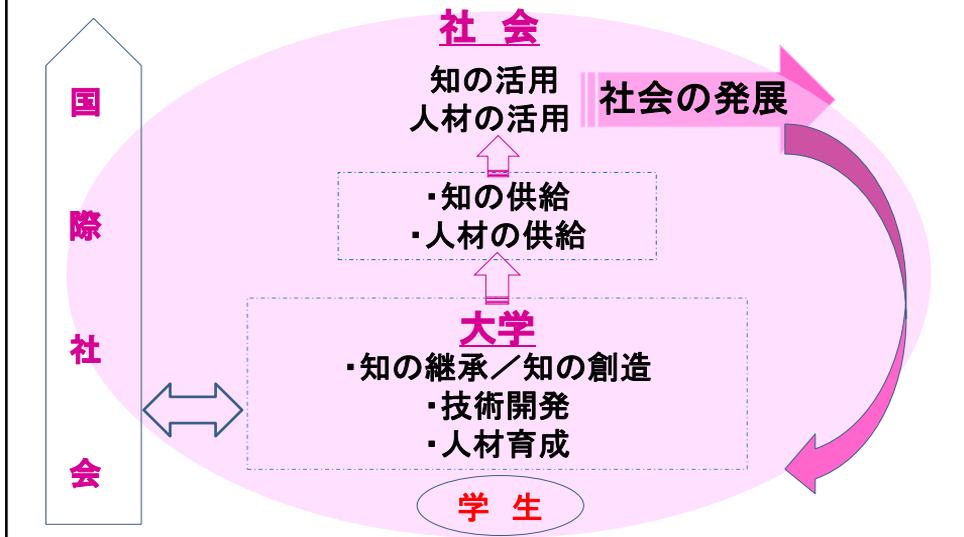
- ・ 全国女性平均 26.0 %

お茶大卒 理系 43.8 %

お茶大卒 文系 38.0 %

本学卒業生は、正規社員・正規職員として就職する率が高く、離職することなく定年まで活躍する卒業生が多い。

## 7. 大学と社会との関わり、世界との関わりの意味 — 知の生成と循環 —



ご清聴ありがとうございました。

